

令和5（2023）年度北海道大学国際総合入試基本方針

趣 旨 ・ 目 的	「北海道大学近未来戦略150」に掲げるグローバル人材の育成のため、国や地域、学問分野を越えたボーダーレスなグローバル社会を生き抜き、リードする意欲と資質を持った人材を人物本位で選抜することを目的とする。
募 集 人 員	1. 総合入試文系 5名 総合入試理系 10名 2. 入学者選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（総合入試）の募集人員に加える。
求める学生像	大学における学修に必要な基礎学力を有するとともに、自らの探究心に基づいて設定した課題を解決することを志向し、常に創造的に行動することのできる学生を求める。例えば、国境を越えた地球環境問題や食糧資源問題等について探究し、異文化を理解・尊重しながら巧みなコミュニケーション能力を発揮してボーダーレスに活躍する意欲を持つ学生を求める。
出願資格・要件	1. 出願資格 次の各号のいずれかに該当すること。 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5（2023）年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5（2023）年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目の一に該当する者及び令和5（2023）年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。） カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの及び令和5（2023）年3月31日までに18歳に達するもの 2. 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること。 ① 令和5（2023）年4月1日現在において、出願資格取得後2年以内であること。 （令和3（2021）年4月1日から令和5（2023）年3月31日までの間に就学資格を取得していること。） ② 以下のa～cのうち、いずれかに該当する者 a. 国際バカロレア（IB）資格証書（DP フルディプロマ）の写し及び最終試験の成績評価証明書を提出できる者（令和5（2023）年1月に資格を取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する最終成績の予測スコアの証明書

を提出すること)

- b. 米国 College Board が実施する SAT Reasoning Test 及び SAT Subject Test の成績評価証明書を提出できる者 (ただし, SAT Reasoning Test は, 米国 ACT Inc. が実施する ACT (American College Testing) の成績評価証明書に替えることができる。)
- c. 米国 College Board が実施する SAT Reasoning Test 及び AP Test の成績評価証明書を提出できる者 (ただし, SAT Reasoning Test は, 米国 ACT Inc. が実施する ACT (American College Testing) の成績評価証明書に替えることができる。)

③ IB の履修科目, SAT, AP 及び ACT の受験科目について

- a. IB の履修科目について, 以下のとおり指定する。

区分	対象	履修指定科目
総合入試文系	日本語を母語とする者	英語 A (SL/HL) 又は英語 B (SL/HL) ※①
	日本語を母語としない者	日本語 A (SL/HL) 又は日本語 B (HL) ※②
	全 員	グループ 3 【個人と社会】の中から 1 科目 (SL/HL) 又は グループ 5 【数学】の中から 1 科目 (SL/HL) ただし「応用と解釈 SL」を除く。
総合入試理系	日本語を母語とする者	英語 A (SL/HL) 又は英語 B (SL/HL) ※①
	日本語を母語としない者	日本語 A (SL/HL) 又は日本語 B (HL) ※②
	全 員	グループ 4 【理科】の中から 2 科目 (SL/HL) (うち 1 科目は物理, 化学, 生物のいずれかであること) 及び グループ 5 【数学】の「解析とアプローチ HL」

※① 当該科目を履修していない場合, 以下に掲げるいずれかの成績証明書等の提出に替えることができる。

- (1) TOEFL-iBT (2) TOEFL-iBT Home Edition (3) IELTS (4) TOEIC L&R
(5) 実用英語技能検定試験 (日本・英検) (6) 国連英検 (7) ケンブリッジ英検

※② 当該科目を履修していない場合, 以下に掲げるいずれかの成績証明書等の提出に替えることができる。

- (1) 日本語能力試験 N1
(2) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」における「日本語」の得点 (記述式を含む) が 270 点以上の成績通知書 (写)

b. SAT 及び ACT の受験科目について、以下のとおり指定する。※③

区分	受験指定科目
総合入試 文系	• SAT Reasoning Test 2科目（数学，読解）又は ACT 4科目（英語，数学，読解，理科） • SAT Subject Test 3科目以上（日本語を除く） 【文学，アメリカ史，世界史の中から1科目，及び数学（level 2）1科目を含む】
総合入試 理系	• SAT Reasoning Test 2科目（数学，読解）又は ACT 4科目（英語，数学，読解，理科） • SAT Subject Test 3科目以上（日本語を除く） 【生物（生態学又は機能分子学のいずれか），化学，物理の中から2科目，及び数学（level 2）1科目を含む】

※③ 日本語を母語としない者は，以下に掲げるいずれかの成績証明書等を提出すること。

(1) 日本語能力試験 N1

(2) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」における「日本語」の得点（記述式を含む）が270点以上の成績通知書（写）

c. SAT Reasoning Test 及び AP の受験科目について、以下のとおり指定する。

※④

区分	受験指定科目
総合入試 文系	• SAT Reasoning Test 2科目（数学，読解）又は ACT 4科目（英語，数学，読解，理科） • AP Test 3科目以上（AP Japanese Language and Culture を除く）。うち2科目は，下記Ⅰの科目群から1科目，Ⅱの科目群から1科目とする。 Ⅰ： 1. AP English Language and Composition 2. AP English Literature and Composition 3. AP Comparative Government and Politics 4. AP European History 5. AP Human Geography 6. AP Macroeconomics 7. AP Microeconomics 8. AP Psychology 9. AP United States Government and Politics 10. AP United States History 11. AP World History: Modern Ⅱ： 1. AP Calculus AB 2. AP Calculus BC 3. AP Statistics 4. AP Computer Science Principles 5. AP Computer Science A
総合入試 理系	• SAT Reasoning Test 2科目（数学，読解）又は ACT 4科目（英語，数学，読解，理科） • AP Test 3科目以上（AP Japanese Language and Culture を

	<table> <tr> <td data-bbox="483 188 622 880"></td><td data-bbox="622 188 1390 880"> 除く)。うち2科目は下記科目群Ⅰ～Ⅳから(同一群からは1科目のみ)，1科目はⅤの数学からとする。 Ⅰ： 1.AP Physics 1: Algebra-Based 2.AP Physics 2: Algebra-Based 3.AP Physics C: Electricity and Magnetism 4.AP Physics C: Mechanics Ⅱ： 1.AP Chemistry Ⅲ： 1.AP Biology Ⅳ： 1.AP Environmental Science 2.AP Computer Science A 3.AP Computer Science Principles Ⅴ： 1.AP Calculus BC </td></tr> </table> ※④ 日本語を母語としない者は、以下に掲げるいずれかの成績証明書等を提出すること。 (1) 日本語能力試験 N1 (2) 独立行政法人日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」における「日本語」の得点(記述式を含む)が270点以上の成績通知書(写)		除く)。うち2科目は下記科目群Ⅰ～Ⅳから(同一群からは1科目のみ)，1科目はⅤの数学からとする。 Ⅰ： 1.AP Physics 1: Algebra-Based 2.AP Physics 2: Algebra-Based 3.AP Physics C: Electricity and Magnetism 4.AP Physics C: Mechanics Ⅱ： 1.AP Chemistry Ⅲ： 1.AP Biology Ⅳ： 1.AP Environmental Science 2.AP Computer Science A 3.AP Computer Science Principles Ⅴ： 1.AP Calculus BC
	除く)。うち2科目は下記科目群Ⅰ～Ⅳから(同一群からは1科目のみ)，1科目はⅤの数学からとする。 Ⅰ： 1.AP Physics 1: Algebra-Based 2.AP Physics 2: Algebra-Based 3.AP Physics C: Electricity and Magnetism 4.AP Physics C: Mechanics Ⅱ： 1.AP Chemistry Ⅲ： 1.AP Biology Ⅳ： 1.AP Environmental Science 2.AP Computer Science A 3.AP Computer Science Principles Ⅴ： 1.AP Calculus BC		

| 選 抜 方 法 | 成績評価証明書，調査書，志望理由書，自己推薦書等の出願書類並びに面接の結果を総合して合格者を決定する。 1. 第1次選考 成績評価証明書，調査書，志望理由書，自己推薦書等に基づき選考を行う。 2. 第2次選考 - ・第1次選考に合格した者に対して，面接，成績評価証明書に基づき総合的に判定する。 - ・面接は出願書類(IB 課題論文 EE 若しくは本学が課するテーマによる課題論文(「2. 要件②のb又はc(2ページ参照)」に該当する場合)を含む)の内容に基づき実施する。※ - ・面接実施の際，必要に応じ，口頭試問等による学力の確認，日本語能力又は英語能力の確認を行う場合がある。 ※「2. 要件②b又はc(2ページ参照)」に該当する受験者は，学習している科目の中から自ら興味をもった課題について調査・研究を行い，論文としてまとめて提出すること。 |